

日進市国民健康保険
第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）
及び第3期特定健康診査等実施計画
に関する実績および評価報告書

【平成30年度評価】

令和元年12月
日進市保険年金課

第2期データヘルス計画に基づき実施した各事業の平成30年度個別保健事業評価

事業名	事業内容			目標(達成時期:2023年度末(平成35年度末))				平成30年度個別事業				評価	
				アウトプット		アウトカム		アウトカム					
	目的	事業概要	対象者	指標	現状値	目標値	目的	指標(目標)	目標	実績値			
特定健康診査事業	生活習慣病の予防及び生活習慣の改善	市内医療機関での個別方式、及び保健センター等での集団方式にて実施。	40～74歳被保険者	受診率(%) (法定報告値)	42.80%	60.00%	被保険者の健康維持	特定保健指導の減少率 (目標:25%)	45%	42.0% (法定報告)	未達成 前年度受診率を上回ることはできた	△	
特定健康診査未受診者対策	特定健康診査の未受診者の減少。特定健康診査受診の重要性の普及と啓発。	特定健康診査の未受診者に対して個別通知による受診勧奨を実施。	特定健康診査未受診者	特定健康診査未受診者の割合(%)	57.20%	40.00%	-	-	40歳、50歳代の受診率24%、2年連続未受診率50%	40歳、50歳代の受診率24.9%、2年連続未受診率52.4%	40歳、50歳代 達成 2年連続未受診 未達成率 ターゲットとする対象者選定の検討	△ ×	
特定健康診査継続受診対策	自発的な継続受診行動につなげていく	健診結果から経年変化に気づき継続受診を自発的にするよう知識の普及を行うもの。	特定健診受診者	-	-	-	-	-	来年度以降も継続受診するつもりがある人の割合80%	来年度以降も継続受診するつもりがある人の割合97.3%	達成	○	
特定保健指導事業	生活習慣病の予防効果が多く期待できる人に対して、生活習慣見直しのサポートをする。	・市内医療機関での個別方式及び保健センター等での集団方式にて実施。・個別運動指導。	特定保健指導該当者	実施率(%) (法定報告値)	8.30%	60.00%	利用者の健康改善率	保健指導による保健指導対象者の減少率 (法定報告) (目標:50.0%)	特定保健指導利用率(初回面接)20%	特定保健指導利用率(初回面接)18.8%	未達成 前年度利用率(初回面接)を上回ることはできた 終了率 20.0%達成	△	
特定保健指導未利用者対策事業	特定保健指導の未利用者の減少。特定保健指導の重要性の普及と啓発。	受診勧奨。(電話、個別通知、個別訪問)	特定保健指導未利用者	特定保健指導未利用者の割合(%)	91.70%	40.00%	-	-	勧奨対象者の内、特定保健指導利用率(初回面接)18%	勧奨対象者の内、特定保健指導利用率(初回面接)18.3%(77人)	達成	○	
									資料送付対象者の内特定保健指導初回利用率10%	資料送付対象者の内特定保健指導初回利用率18.1%	達成	○	
									訪問対象者のうち特定保健指導利用率(初回面接)18%	訪問対象者のうち特定保健指導利用率(初回面接)7.1%	未達成	×	
									個別運動指導利用者アンケートで生活習慣を改善しようと思った人の割合50%	個別運動指導利用者アンケートで生活習慣を改善しようと思った人の割合84.2%	達成	○	
糖尿病重症化予防事業	医療機関と連携するなどし、人工透析等への移行を防止する。	個別訪問等による医療機関への受診勧奨。	健診結果値が基準値以上の未受診者(治療中断者)	通知3カ月後の医療機関の受診率(%)	14.30%	50.00%	対象者の健康改善	対象者の減少(14人)(目標:10人)	医療機関受診率30%	14人中6人が医療機関受診42.9%(6名)	達成	○	
		かかりつけ医と連携した保健指導の実施。	特定健康診査の結果値が基準値以上の人	保健指導の利用率(%)	新規事業(平成30年度～)	50.00%	50.00%	利用者の健康維持	保健指導前後の検査値(HbA1c)の改善(目標:80.0%)	保健指導利用者で生活習慣を改善した人の割合50%	3人中3人がHbA1c値改善100%	達成	○

事業名	事業内容			目標(達成時期:2023年度末(平成35年度末))			平成30年度個別事業				評価		
	目的	事業概要	対象者	アウトプット			アウトカム		アウトカム				
				指標	現状値	目標値	目的	指標(目標)	目標	実績値			
後発医薬品差額通知(ジェネリック医薬品)	患者負担の軽減と医療保険財政の改善。	後発医薬品利用差額通知書の送付。	後発医薬品のある一定疾病患者	対象者への通知率(%)	100%	100%	後発医薬品の推進	後発薬品比率 ※新指標(目標:80.0%)	前年度比5%アップ	67.3% (+3.6%)	未達成 周知等の検討	×	
重複・頻回受診者指導事業	医療機関への適正受診の促進。	重複・頻回受診者への訪問勧奨。	重複・頻回受診者	重複・頻回受診者への訪問率(%)	新規事業予定	100%	不適正受診者の減少	適正受診率(目標:100%)	H31年度より実施				
成人歯周病検診	歯周病患者の早期予防と口腔衛生の改善を図り、歯の喪失を予防する。	節目年齢者に歯科検診及び保健指導を行う。	30～75歳までの5年毎の節目年齢者	成人歯周病検診受診率(%)		12.60%	15.00%	被保険者の健康維持	1人当たりの現在歯数(目標:27.5本)	歯周病健診受診率13%	受診率12.8%(629人)	未達成 周知等の検討	×
がん検診事業	がん検診の受診促進及びがんの早期発見。	がん検診の実施及びがん検診推進プロジェクトによる知識の普及周知を行う。	40歳以上(子宮がんは20歳以上)の市民	がん検診受診率(%)		胃10.9% 大腸16.4% 肺15.8% 子宮19.7% 乳19.0%	50%	早期発見早期治療	がん発見率: 胃0.11% 大腸0.13% 肺0.03% 子宮0.05% 乳0.23%	胃10.9% 大腸16.4% 肺15.8% 子宮19.7% 乳19.0%	被保険者がん検診受診率(地域保健報告) 胃28.4% 大腸26.5% 肺25.3% 子宮23.5% 乳26.1%	達成 指標を地域保健報告値に変更	○
にっしん健康マイレージ事業	個人の健康づくりにとどまらず、「まち」の健康へつなげていく。	自ら健康づくりを実践して一定のポイント貯めると、愛知県内の協力店で特典(サービス)を受けられることができる「あいち健康づくり応援カード(まいかカード)」がもらえる。	18歳以上の市内在住・在勤・在学	参加率(%) (保険者努力支援制度報告値)		0.70%	0.70%	自分の健康づくりを意識するようになる	参加者のうち自分の健康づくりを意識するようになった人の割合(目標:85.2%)	参加者のうち、自分の健康づくりを意識するようになった人の割合(目標:85.2%)	男:84.5% 女:79.9% 計:81.4%	未達成 周知方法検討	×

○:達成 △:達成できなかったが前年度比改善 ×:未達成

総合評価

第2期ヘルス計画、第3期特定健康診査等実施計画、平成30年度個別保健事業計画に基づき評価を行った。

アウトカム目標については、13事業中6事業について目標達成できた。達成できた事業については効果が現れた手法を確認し、次年度さらに効果が出るよう改善していく。未達成の事業については、効果が期待できる事業を取捨選択し、無駄のない事業展開をしていくよう次年度にむけ検討していく。

特定健康診査については、前年度より0.5%微増であったもののアウトカム目標未達成であった。第3期特定健康診査等実施計画でも掲げている2023年度目標受診率60%を達成するためには同じ手法では到底達成できないため、未受診者対策・継続受診対策の再検討を行い、よりいっそう効果の得る事業を展開する必要がある。また、特定健康診査の受診質向上に伴い他事業の対象者が増えていくことも想定できるため、特定健康診査とのつながりを視野に入れた上で、次年度にむけ個別保健事業内容を検討していく。

事業名①	特定健康診査	
目的	生活習慣病の予防に着目した効果的・効率的な特定健康診査を実施し、被保険者の健康管理を図る。同時に未受診者対策を実施し、受診率向上を図る。	
評価目標	ストラクチャー	委託による安定した実施（医師会への説明・事務担当者説明、業者打合せ）
	プロセス	受診に繋がりやすい受診案内作成
	アウトプット	対象者への案内送付100%
	アウトカム	健診受診率45%
達成（未達成）状況の確認と評価	ストラクチャー	保健衛生会議での説明、事務担当者説明会、業者打合せ 広報6月号や「こくほ通信」での継続的な周知
	プロセス	5月24日受診券発送
	アウトプット	対象者への案内送付100%
	アウトカム	健診受診率42%
総合評価	アウトカム目標値45%を達成することはできなかったが、前年度の受診率を上回ることができた。来年度、目標値達成を目指し、未受診者対策や継続受診対策含め検討する必要がある。	

年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目標値（%）		45.0	48.0	51.0	54.0	57.0	60.0
受診率（%）	41.5	42.0					

法定報告値

事業名②	特定健康診査未受診者対策	
目的	40歳、50歳代は他年代と比較して受診率が低く且つ受診行動が習慣化していない傾向があるが、自営業者等の長期に渡り国保の被保険者であることが推測される。若年のうちから特定健診を経験し受診行動定着させることで、日進市における健診受診者の基礎となる集団を創出することを目的とする。	
評価目標	ストラクチャー	健康課と打合せ
	プロセス	データ分析による2年連続未受診の把握
	アウトプット	40歳、50歳代の勧奨通知、2年連続未受診勧奨通知 100%
	アウトカム	40歳、50歳代の受診率24%、2年連続未受診率50%
達成（未達成）状況の確認と評価	ストラクチャー	がん検診受診券同時発送の調整
	プロセス	2年連続未受診の抽出
	アウトプット	対象者への通知100%
	アウトカム	40歳、50歳の受診率24.9%、2年連続未受診率52.4%
総合評価	40歳、50歳の受診率はアウトカム目標値を達成できたが、2年連続未受診率はアウトカム目標値を下回る結果になった。目的にあるとおり、アプローチ対象としての若年層は大変重要であることから、より効果的なアプローチ方法を検討する必要がある。しかしながら、経験則として受診行動に繋がりにくい年齢層であることが分かっており、受診率向上という視点では40歳50歳代という括りにこだわらず行動変容に繋がりがやすい者を選定する方法を模索する必要があると考える。	

事業名③	特定健康診査継続受診対策	
目的	健診受診率向上のためには健診未受診者への対策だけでなく、健診受診者が毎年継続的に受診することで経年変化に気づき、体の変化を早期発見することが出来る有益性を理解し、自発的な継続受診行動が定着している群を作り出す方策が必要である。過去5年間の受診パターンをみると、平成28年度、29年度2年連続受診者は35.15%であり、継続受診行動が定着している者の割合は低い傾向となっており、受診率向上のための対策が求められている。	
評価目標	ストラクチャー	事務説明会の実施、委託業者との打合せ
	プロセス	健診実施件数が多い医療機関に対し、現状確認及び結果説明の際に継続受診の必要性について説明を加えてもらえるよう依頼 4医療機関への訪問
	アウトプット	説明会後のアンケート回収率 70%
	アウトカム	来年度以降も継続受診するつもりがある人の割合 80%
達成（未達成）状況の確認と評価	ストラクチャー	個別医療機関へ事務説明会の実施、委託業者との打合せ実施
	プロセス	4医療機関への訪問実施
	アウトプット	説明会後のアンケート回収率 76.0%
	アウトカム	来年度以降も継続受診するつもりがある人の割合 97.3%
総合評価	アウトカム指標は97.3%と目標値を達成した。より多くの方へ継続受診の必要性を理解してもらえるよう次年度は説明会参加者数そのものの増加を目指した取組みを検討する。	

事業名④	特定保健指導	
目的	特定健康診査の結果から動機付け支援及び積極的支援の対象者に対して、特定保健指導を実施し生活習慣の改善を促し生活習慣病を予防する。	
評価目標	ストラクチャー	委託による安定した実施
	プロセス	保健衛生会議、事務担当者説明会、業者との打合せにて健診結果説明時、特定保健指導利用に繋がりやすい案内説明をするよう依頼
	アウトプット	対象者への案内100%
	アウトカム	特定保健指導利用率（初回面接）20%
達成（未達成）状況の確認と評価	ストラクチャー	委託による安定した実施
	プロセス	フローチャートを作成。「保健衛生会議」「事務担当者説明会」「業者との打合せ」にて健診結果説明時、特定保健指導利用に繋がりやすいよう、作成したフローチャートを用い案内説明を行うよう依頼した。
	アウトプット	対象者への案内100%
	アウトカム	特定保健指導利用率（初回面接）18.8%
総合評価	アウトカム指標は達成できなかったが前年度の利用率（初回面接）15.3%に比べて3.5%上昇しており一定の評価はできる。個別医療機関から対象者への周知・勧奨により、特定保健指導の利用の動機付けにつながったことが要因と考える。また、未利用者対策事業による効果も大きいと考えられる。法定報告値では終了率20.0%と目標を達成できた。	

年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目標値 (%)		20.0	25.0	30.0	40.0	50.0	60.0
終了率 (%)	17.6	20.0					

法定報告値

業名⑤	特定保健指導未利用者対策事業	
目 的	特定保健指導実施率の向上を目指す	
評価目標	ストラクチャー	委託による安定した実施
	プロセス	利用に繋がりのやすい案内作成、電話勧奨時のアプローチ方法等質の向上のための打合せ
	アウトプット	勧奨対象者への案内送付100%
	アウトカム	勧奨対象者の内、特定保健指導利用率（初回面接）18%
達成（未達成）状況の確認と評価	ストラクチャー	委託による安定した実施
	プロセス	過去の利用者のデータを活用し指導効果が伝わるチラシを作成 事前打合せにより電話勧奨方法（架電時間、初回面接日程調整につながるアポイントのとり方等）、土曜日開催日により就労者も指導を受ける体制作りを行う
	アウトプット	未利用者への案内送付100%（420人） 電話勧奨接続率75%（勧奨実施 315人）
	アウトカム	勧奨対象者の内、特定保健指導利用率（初回面接）18.3%（77人）
総合評価	アウトカム指標の達成ができた。電話勧奨回数を決めるだけでなく、プロセスとして架電の時間帯を工夫することや、対象者に次々と選択肢を提示することで判断を迷わせることなく初回面接に繋げるアポイント方法を実践するよう打合せしたことや、土曜の開催日を設け、就労をしている者でも指導を受けやすい環境を整えたことが目標達成の要因と考える。また、「個別運動指導事業」を、特定保健指導参加を促すインセンティブ事業として位置づけてあることも目標達成の要因と考える。 次年度も継続。	

事業名⑥	特定保健指導未利用者対策事業 生活習慣病発症リスクを記した資料の送付	
目 的	特定保健指導実施率の向上を目指す	
評価目標	ストラクチャー	健康課との打合せ
	プロセス	健サポナビ（ソフトウェア）より対象者抽出
	アウトプット	対象者への送付100%
	アウトカム	対象者の内特定保健指導初回利用率10%
達成（未達成）状況の確認と評価	ストラクチャー	健康課との打合せ1回
	プロセス	健サポナビ（ソフトウェア）より対象者抽出
	アウトプット	対象者への送付100%
	アウトカム	対象者の内特定保健指導初回利用率18.1%
総合評価	アウトカム目標値を上回る利用率であり、目標は達成されたと判断する。しかし健サポナビで作成した帳票が、特定保健指導の実施率向上に直接寄与したかどうかを判断しがたい状況にある。未利用者対策の効果的な方法を検討する必要がある。	

事業名⑦	特定保健指導未利用者対策事業 個別訪問による勧奨	
目的	特定保健指導実施率の向上を目指す	
評価目標	ストラクチャー	健康課との打合せ
	プロセス	集団健診受診者から対象者抽出
	アウトプット	対象者への訪問 100%
	アウトカム	訪問対象者のうち特定保健指導利用率（初回面接）18%
達成（未達成）状況の確認と評価	ストラクチャー	健康課との打合せ 1 回
	プロセス	集団健診結果特定保健指導に該当しHbA1c 5.6%以上
	アウトプット	対象者への訪問 100%（14 名）
	アウトカム	訪問対象者のうち特定保健指導利用率（初回面接）7.1%（1 名）
総合評価	アウトカム目標値は達成できなかった。個別訪問による勧奨が特定保健指導の実施率に効果があるとは判断できないため、訪問による勧奨は中止とする。	

事業名⑧	特定保健指導未利用者対策事業 個別運動指導	
目的	特定保健指導実施率向上を目的としたインセンティブ事業 特定保健指導対象者が生活習慣改善のための運動目標を自ら設定・実施できるよう、個々の特性や状態（リスク）に応じた適切なプログラムを提案し、対象者が安全かつ継続的に取り組めるよう専門職からの助言を受けられる環境を提供し、生活習慣の改善意識の向上に繋げる。	
評価目標	ストラクチャー	委託業者との打合せ
	プロセス	特定保健指導対象者の把握 100% 業者との打合せ
	アウトプット	送付者の中で初回利用率 16%
	アウトカム	アンケートで生活習慣を改善しようと思った人の割合 50%
達成（未達成）状況の確認と評価	ストラクチャー	委託業者との打合せ
	プロセス	特定保健指導対象者の把握 100% 業者との打合せにより、運動習慣がない等、個々の運動レベルに合わせ運動習慣定着を促すような指導内容を検討した。 特定保健指導業者との打合せで、特定保健指導でも個別運動指導の紹介とともに栄養面と運動面両面からのアプローチの必要性を盛り込みより効果が出るような体制作りを行った。
	アウトプット	送付者の中で初回利用率 56.0%
	アウトカム	アンケートで生活習慣を改善しようと思った人の割合 84.2%
総合評価	アウトカム目標値を上回る利用率であり、目標は達成されたと判断する。各自の身体状況や運動能力に適した、プロと考える運動指導プログラム体験したことがアウトカム目標達成の要因と考える。 来年度も継続。	

事業名⑨	糖尿病重症化予防対策 糖尿病重症化予防受診勧奨訪問	
目的	前年度の特定健診の結果、血糖値が医療機関への受診が必要な数値にもかかわらず、未治療である者に対し個別訪問を行い、受診勧奨を行う。	
評価目標	ストラクチャー	健康課との打合せ
	プロセス	受診勧奨対象者の把握 100%
	アウトプット	受診勧奨訪問 100%
	アウトカム	訪問実施者の医療機関受診率 30%
達成（未達成）状況の確認と評価	ストラクチャー	健康課との打合せ 1 回実施
	プロセス	受診勧奨対象者の把握 100%
	アウトプット	受診勧奨訪問 100%（14名）
	アウトカム	訪問実施者の医療機関受診率 42.9%（6名）
総合評価	アウトカム目標値を上回る受診率であり、目標は達成されたと判断する。次年度も継続。前年度訪問対象者で訪問実施後も未受診である者で、今年度実施しても受診が確認できない者についてアプローチ方法を検討する必要がある。	

事業名⑩	糖尿病重症化予防対策 糖尿病性腎症重症化予防事業保健指導	
目的	糖尿病性腎症の患者に対し、かかりつけ医と連携しながら、専門の研修を積んだ看護師による保健指導を行う。保健指導により患者自らの自己管理を促すことでQOLを高め、糖尿病性腎症の重症化を遅らせることを目的とする。	
評価目標	ストラクチャー	有識者、専門内科医、歯科医師、薬剤師との検討会議年 3 回
	プロセス	KDB抽出により対象者の抽出を行い、対象者のいるかかりつけ医へ訪問する 3 医療機関
	アウトプット	保健指導の実施者数 5 名
	アウトカム	中間報告の中で生活習慣を改善した人の割合 50%
達成（未達成）状況の確認と評価	ストラクチャー	KDB抽出により対象者の抽出を行い、対象者のいるかかりつけ医へ訪問する 3 医療機関
	プロセス	3 医療機関へ訪問説明
	アウトプット	保健指導の実施者数 3 名
	アウトカム	中間報告の中で生活習慣を改善した人の割合 66.6%
総合評価	指導内容に沿って生活習慣の行動変容が確実に見られた者が 2 名で体重減少も見られる。その内 1 名はHbA1c 値が減少しており効果が見られている。次年度も継続。	

事業名⑪	後発医薬品普及啓発使用促進事業 後発医薬品普及啓発	
目的	後発医薬品（ジェネリック医薬品）の利用促進により、医薬品調剤料の自己負担金軽減と医療費の適正化を行う	
評価目標	ストラクチャー	予算確保
	プロセス	資料内容の検討
	アウトプット	対象者への通知100%
	アウトカム	後発医薬品比率5%アップ（長期目標80%）
達成（未達成）状況の確認と評価	ストラクチャー	予算確保
	プロセス	後発医薬品差額通知発送
	アウトプット	対象者への通知100%
	アウトカム	後発医薬品比率67.3%（H29 63.7%）
総合評価	5%アップの目標達成はできなかったが、使用比率自体は向上していることから、現行の差額通知やジェネリックカードの送付について継続実施していく。飛躍的な使用率促進に繋がる方策が見当たらないことから、現行を継続実施することを本線とするが、追加実施できる他の周知方法等も研究・検討をしていく。	

事業名⑫	成人歯周病検診	
目的	若い世代から歯周病を意識した歯科検診により口腔衛生の改善を図るとともに、歯周疾患の早期治療、更には糖尿病を含め生活習慣病予防や認知症予防に繋げる。	
評価目標	ストラクチャー	予算確保
	プロセス	健康課との打合せ
	アウトプット	対象者への通知100%
	アウトカム	受診率13%
達成（未達成）状況の確認と評価	ストラクチャー	予算確保
	プロセス	健康課との打合せ
	アウトプット	対象者への通知100%（4926人）
	アウトカム	受診率12.8%（629人）
総合評価	被保険者への助成は183人。アウトカム目標値を達成することはできなかった。歯周病は生活習慣病、特に糖尿病と関連が深いので、医療費適正化や生活習慣病予防のひとつとして歯周疾患予防のため受診率向上にむけ検討をしていく必要がある。 次年度も継続。	

※健康課事業 分母は日進市全体での対象数と受診数

事業名⑬	がん検診事業	
目的	がん検診受診促進およびがんの早期発見	
評価目標	ストラクチャー	健康課との打合せ
	プロセス	案内通知内容を検討
	アウトプット	対象者への通知100%
	アウトカム	がん検診受診率：胃10.9%、大腸16.4%、肺15.8%、子宮19.7%、乳19.0%
達成（未達成）状況の確認と評価	ストラクチャー	健康課との打合せ
	プロセス	特定健診受診券にがん検診受診券を同封した。また、受診しやすい案内通知を検討した
	アウトプット	対象者への通知100%
	アウトカム	被保険者がん検診受診率（地域保健報告）胃28.4%、大腸26.5%、肺25.3%、子宮23.5% 乳がん 26.1%
総合評価	平成30年度地域保健報告より「(再掲) 国保受診率」が報告項目に加わったため、評価指標を被保険者受診率に変更する。受診率は目標値達成できた。特定健診含め受診率向上のために周知方法等を検討していく必要がある。 次年度も継続。	

事業名⑭	にっしん健康マイレージ事業	
目的	個人の健康づくりにとどまらず、「まち」の健康へつなげていく	
評価目標	ストラクチャー	健康課との打合せ
	プロセス	配付事業の検討
	アウトプット	参加率7%
	アウトカム	参加者のうち、自分の健康づくりを意識するようになった人の割合85.2%
達成（未達成）状況の確認と評価	ストラクチャー	健康課との打合せ
	プロセス	集団特定健診にて配付、また集団特定保健指導参加者に再度周知を行った。
	アウトプット	参加率1.08%（H31.3.31時点16歳未満人口75,038人 マイレージ参加者808人）
	アウトカム	男：84.5% 女：79.9% 計：81.4%
総合評価	アウトプット・アウトカム目標値とも目標達成ができなかったが、参加者の81.4%が‘健康づくりを意識するようになった’と昨年度に続き意識の変化が高い割合で現れており、効果が表れていると判断できる。保険年金課で配付する場合は健診当日や健診結果説明会であり、この時は健康意識が一番高いタイミングであることから、より取り組みへの動機づけに繋がる説明等周知方法について検討していくことが重要である。 次年度も継続	

※健康課事業 分母は日進市全体での対象数